

2026年4月27日

西地区体育振興会連合会総会

林 但

西地区では、荻野・大楠・長井・武山が40年以上前から体育振興会で幹事を交代しながら、成人・児童のソフトボール、成人女子のバレーボール、児童サッカー大会を春・秋等に大会を行ってきていました。当時は学区には町内会ごとにチームがあり学区対抗球技大会に出られないチームのために？ 大会を1日～2日ばかりで行っていました。平成から令和に時代は移り、コロナ禍を経て急激に少子高齢化、交通の便の悪さも相まって人口は流出し減少となりました。

昨日の総会でも、大会ができたのは児童サッカー大会と振興会メンバーが参加しての「ウォーキングサッカー体験会」でした。お互いに他の学区行事の見学なども行いながら情報交換や交流も行いました。不特定多数を対象とした従来のイベント開催は、西地区という括りでは範囲が広すぎて、周知方法や費用など、運営側(体育振興会)の高齢化があり実現は困難ではないかという意見が出されました。

総会後半には、以下の点について意見交換を行いました。

- ① 健民運動会は大楠・武山は行っている、荻野・長井は行っていない。大楠では町内ごとの団結のために有効でまとめ役いる、地域全体で連携して行っているとの声。けがや参加や集めが難しく行かないの声も。
- ② 歩こう会などは全学区が毎年・隔年で行っているが、歩くコースや距離他で課題もある。西全体で、大楠・荻野は大楠山や西海岸周辺、武山は武山やYRP周辺、衣笠方面、長井は荒崎海岸・ソレイユの丘などがあり、お互いのところの行事案内も行うなどはしてはどうでしょうかの意見もあり。
- ③ 体育振興会の人員では主体的に動く人の数は、10数名から20名くらいである。町内会やその他関連団体と連携をとっているところも多い。

それぞれの学区の成り立ちや地域の特異性もあり、各々異なる。当面は学区においてイベント活動のサポートが主となる。サポートに必要なスキルや情報を得るため交流会や勉強会は行っていく。長期的には各学区のイベント活動で新たなクラブチームの自然発生を促していく。今、グラウンド・ゴルフやボッチャなどが生まれようとしているように私は感じました。



ウォーキングサッカー体験会



児童サッカー大会